



第4回

入場無料

最上地区民俗芸能フェスティバル

《出演団体》
 萩野鹿子踊 (新庄市)
 柳原番楽 (金山町)
 鮭川歌舞伎 (鮭川村)
 幅神楽 (舟形町)
 八敷代番楽 (真室川町)
 川ノ内囃子 (真室川町)
 合海田植踊 (大蔵村)
 《招待団体》
 長瀬猪子踊り (東根市)



とき 2018年11月23日(金・祝) 13:00開会 ところ ゆめりあ 交流広場

主催 最上地区民俗芸能団体懇話会

■お問合せ: フェスティバル担当 新田
TEL: 090-7523-0359

後援 新庄市教育委員会/金山町教育委員会/最上町教育委員会/舟形町教育委員会
真室川町教育委員会/鮭川村教育委員会/大蔵村教育委員会/戸沢村教育委員会

最上地区民俗芸能フェスティバル 出演団体

新庄市

萩野鹿子踊 (はぎのししおどり)

萩野地区に伝わる一人立ちの鹿子踊です。起源は室町後期と言われ、村人が近くの小倉山に群れ遊ぶカモシカを見て、これを真似て踊ったところ、その年は大豊作となったことから、以後、五穀豊穡を願う作踊りとして毎年踊るようになったと伝えられています。

鮭川村

鮭川歌舞伎 (さけがわかぶぎ)

約150年前、安政の頃に越後の旅芸人から段ノ下地区が伝わったものと言われ、豊作を祈願する踊りです。県内唯一女性だけの踊りで、地元主婦たちが受け継いできました。3人1組の派手な姿で、手に「どんがら」棒を持ち、歌い手の掛け声や歌に合わせて賑やかに踊ります。

真室川町

八敷代番楽 (はっしきだいばんがく)

秋田県矢島地方から山伏が伝えられたとされる山伏神楽の一種です。毎年9月12日の山神社例大祭で、獅子舞が奉納され、その後宿公演では、武士舞などほかの演目も舞われます。地区内に彫師がいたこともあり、今も町内で一番多く「面」が残されています。

金山町

柳原番楽 (やなぎはらばんがく)

有屋地区に伝わる神室修験者が伝えた山伏神楽のひとつです。戦後衰退し、細々と伝承されてきましたが、危機を乗り越え、いまに継承されています。柳原では、獅子舞に用いられる獅子頭のことを「八幡様」と呼び、生き神様としてあがめられています。

舟形町

幅神楽 (はばかぐら)

五穀豊穡、子孫繁栄、家内安全を願って舞う幅神楽は、100年以上の歴史を持つ伝統文化です。昭和30年台前半から一次途絶えましたが、昭和63年に長沢小学校落成式に児童が地域の方々から手ほどきを受け、30年振りに復活を果たした神楽は、現在に受け継がれています。

真室川町

川ノ内囃子 (かわのうちばやし)

川ノ内囃子は、延宝9年、当時の川ノ内村庄屋 新田氏が、四国高松の吉祥稲荷大明神を祀り、村の繁栄を祈願したのが始まりと伝えられています。お稲荷様が神社から新田家に里帰りする神社例祭の道中囃子が川ノ内囃子の原形となり、現在に至っています。

大蔵村

合海田植踊 (あいかいたうえおどり)

清水城主がひろめたという合海田植踊は、400年以上の歴史と伝統があり、いまも保存会の手により伝承されています。田植えの終わった6月の「さなぶり」には、合海集落全戸を訪れ、極めて珍しい「門づけ舞い」を毎年披露しています。

タイムスケジュール

時間	出演団体	市町村
13:00~	開会行事	
	《開演》	
13:15~	八敷代番楽保存会	真室川町
13:35~	合海田植踊保存会	大蔵村
13:55~	幅神楽保存会	舟形町
14:15~	川ノ内囃子保存会	真室川町
14:35~	萩野鹿子踊保存会	新庄市
14:55~	鮭川歌舞伎保存会	鮭川村
15:15~	長瀬猪子踊り保存会	東根市
15:35	柳原番楽保存会	金山町
	《終演》	
15:55~	閉会行事	

招待団体

東根市

長瀬猪子踊り (ながとろししおどり)

長瀬地区は、山寺を開山した慈覚大師によりつくられた伝説があり、長瀬の地を生み出した慈覚大師への感謝と先導した山鹿の霊への供養のため、山寺に奉納したのが始まりと言われています。昭和62年に東根市無形民俗文化財へ指定されています。

「最上地区民族芸能団体懇話会」って？

最上地区に伝承されている民俗芸能を継承・発展させるため、ネットワークを構築しながら連携を深め、民俗芸能伝承活動の活性化を図るために昨年度に設立しました。現在、17団体加盟しており、番楽、歌舞伎、田植え踊りなど、多種多様にわたります。